

第6次豊明市総合計画の策定経過報告について

1. 実施項目

第5次総合計画で進めてきたまちづくり及び今後のまちづくりに対する市民みなさまの意識や思いを把握し、多くの意見を計画策定に反映していくため、これまでに以下の取り組みを実施してきました。

項目	期間		対象者	資料
市民意識調査	5月31日(金)～6月21日(金)		満16歳以上の市内在住者のうち 無作為抽出した3,000人を対象に実施	第2回総計審 資料2-2
総合計画に対する ご意見・ご提言募集	6月3日(月)～6月21日(金)		上記調査の対象でない方からも計画に対するご意見などを 広く募集 市内在住・在学・在勤の方、市内に事務所を有する個人及び 法人、その他の団体	第2回総計審 資料2-3
転出者アンケート	6月10日(月)～6月28日(金)		2023(令和5年)度に転出した18歳以上のうち 無作為抽出した2,000人を対象に実施	第2回総計審 資料2-4
子育て世代インタビュー	5月8日(水) カラット交換市 5月19日(日) 環境フェスタとよあけ 6月3日(月)、4日(火) 乳幼児健診		29名 11名 22名 } 合計62名	第2回総計審 資料2-5
市民活動団体インタビュー	5月13日(月)～5月20日(月)		市内で活動している23団体	第2回総計審 資料2-6
若者インタビュー	豊明中学校	6月18日(火)		資料1-2
	栄中学校	6月27日(木)		
	沓掛中学校	7月19日(金)		
	豊明高校	5月31日(金)	ワークショップ 各校でのガイダンス、カラットでワークショップを実施 両校あわせて18名	
	星城高校	6月6日(木)		
	名古屋短期大学	6月17日(月)		
	藤田医科大学	8月16日(金)～9月20日(金)		

項目	期間		対象者	資料
総合計画審議会 意見交換会	7月31日(水) ※第2回総合計画審議会後開催		総合計画審議会委員 14 名	資料1-3
市民ワークショップ とよあけ未来カイギ	第1回	9月14日(土)	市民意識調査からの参加希望者 18 名 団体グループインタビュー希望者 5 名 合計 23 名	資料1-4
	第2回	10月19日(土)	市民意識調査からの参加希望者 12 名 団体グループインタビュー希望者 5 名 第1回参加者からの紹介 2 名 合計 19 名	
	第3回	11月 9日(土)	市民意識調査からの参加希望者 11 名 団体グループインタビュー希望者 5 名 第1回参加者からの紹介 6 名 合計 22 名	

2. 庁内実施項目

項目	期間		対象者	資料
若手職員研修会	4月18日(木)		講師:四日市大学大学長(R6.3 まで) 岩崎恭典先生 おおむね2年目から11年目までの職員 90 名	資料1-5
第1回策定部会全体会	8月9日(金)		課長級職員 26 名	
若手職員ワークショップ	9月4日(水)		若手職員(入庁12年目以内)35 名	
第1回職員ワークショップ	9月27日(金)		補佐係長級職員 28 名	
第2回策定部会全体会	10月1日(火)		課長級職員 26 名	

若者インタビュー

1. 中学生インタビュー概要

大人だけではなく、これからの将来を担う市内3中学校の生徒に直接意見を伺い、意見を計画に反映するためグループインタビューを実施しました。

学校名	日にち	対象者
豊明中学校	6月18日(火)	生徒会6名
栄中学校	6月27日(木)	生徒会5名
沓掛中学校	7月19日(金)	生徒会6名



豊明中学校



栄中学校



沓掛中学校

2. 中学生インタビュー結果

①おすすめしたいところ(強み・魅力・自慢)

【豊明中学校】

カテゴリ	意見
自然	田舎過ぎず都会すぎないところ
交通	駅があって友達と色々なところへ遊びに行ける 前後駅によく停まるからおでかけしやすい
カラット	カラットという遊びやすいところがある
安全安心	都会(名古屋)に近いけど騒音が少ない
地域	地域の方があいさつをしてくれる
生活・買い物	食事ができるお店が多い

【栄中学校】

カテゴリ	意見
自然	森林などの花の自然が豊か
交通	名古屋への交通アクセスが抜群 ひまわりバスがある
地域	お祭りやイベントが充実している
公園	公園が多い
学校	英検の補助金がある、給食費が安い
行政	市民について考えてくれている

【沓掛中学校】

カテゴリ	意見
自然	自然豊かで星がきれいに見える(二村台) 田んぼがたくさんあって自然を感じられる
交通	名古屋に近い
地域	豊明の住民は全員優しく、すぐに助けてくれる人がいっぱいいる
生活・買い物	豊明駅の近くに住むと良いと思う。豊明市内にはイオンとかはないけど近くにいろんな店があってすぐに行ける

②おすすめしないところ(弱み・問題点・悩み)

【豊明中学校】

カテゴリ	意見
道路整備	道路がガタガタなところが多い カーブミラーがないところ(急な曲がり角など)がある
生活・買い物	スーパーが少ない 市内にあまり遊べる店がない
地域	子ども会などの活動が少ない
安全安心	夜になるとすごく暗いところがある
その他	市をあげた大会をやってほしい(水泳大会など…)

【栄中学校】

カテゴリ	意見
道路整備	信号がない横断歩道が少なく、道路(コンクリート)がガタガタなところが多い
交通	車で移動ができない高齢者が気軽に移動する手段がない
生活・買い物	土地が多いわりに大型商業施設やカフェがない
地域	町内会が少し時代に合っていないところが…
安全安心	電灯が少なく暗くて夜が危ない
魅力	「豊明といったらこれ!」が思いつかない

【沓掛中学校】

カテゴリ	意見
自然	虫とかが苦手な人は自然が豊かすぎる
道路整備	道路を進んでいたら草が生えていて戻らないといけないことがある
交通	ひまわりバスの夜の本数が少ない
生活・買い物	駅の商業施設が寂しい(前後駅パルネス) 大きい商業施設、遊べる所が少ない
安全安心	夜になるといろんな所でバイクの音が鳴っていてうるさい

③将来の豊明市の理想の姿

【豊明中学校】

カテゴリ	意見
快適	店舗数・道路・交通が充実し、快適に暮らせるまち
挑戦	いろんなことを挑戦することを支援してくれるまち
安心	安心して住み続けられるまち。治安が良いまち。
誇り	いろいろな人に豊明市ってすごいんだよ!と言えそうな豊明を誇りに思えるまち。
自然	今までと変わらないくらい豊かな市
教育	教育の支援が行き届いているまち
笑顔	いつまでも笑顔が絶えないまち

【栄中学校】

カテゴリ	意見
安心	子どもも大人も全員が豊かに暮らせるまち
支え合い	市民みんなで支え合うとみんなが良い気分で過ごせるし何をやるのも挑戦できるから
学び合い	カラットなどを活用した大人も子供も学び合える場がある
歴史・伝統文化	先のことばかりではなく歴史なども受け継げる
教育	英語教育、学力テストの順位が良い、学校行事→子どもを通わせたい
笑顔	笑顔でどんな苦難でも乗り越えられると思ったから

【沓掛中学校】

カテゴリ	意見
挑戦	一番難しいことは初めの一步を出すことなので、その一步を少しでも支えてくれたら挑戦しやすいから
協働	いろんな人と協力し合うことで発想がたくさんできて、まちも住みやすくなる
発展	豊明市が発展すればたくさん人が集まるから
快適	住みやすさ、生活のしやすさが何よりも大切
自然	自然は気持ちをリフレッシュさせてくれるので、自然のあるところに住みたいから
つながり	人や地域のつながりで住みやすい環境に

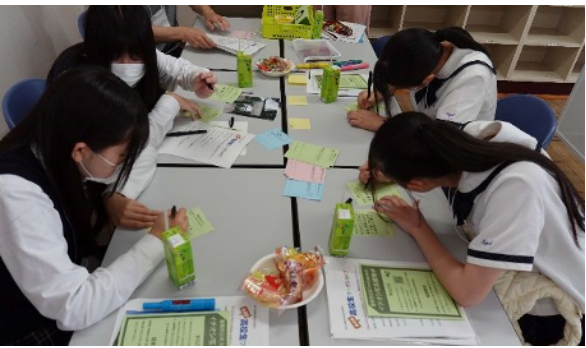
3. 高校生ワークショップ概要

豊明高校及び星城高校の両校の生徒を組み合わせグループを編成し、事前に豊明らしいまたは好きな風景の撮影と、家族・友達などから豊明の良いところ、悪いところをインタビューしていただき、それらの情報をもとに現状の豊明市の課題を整理し、どのようなまちになったら暮らしたいまたは活動したいと思えるか、まちの姿や取り組みアイデアなどを提案していただきました。

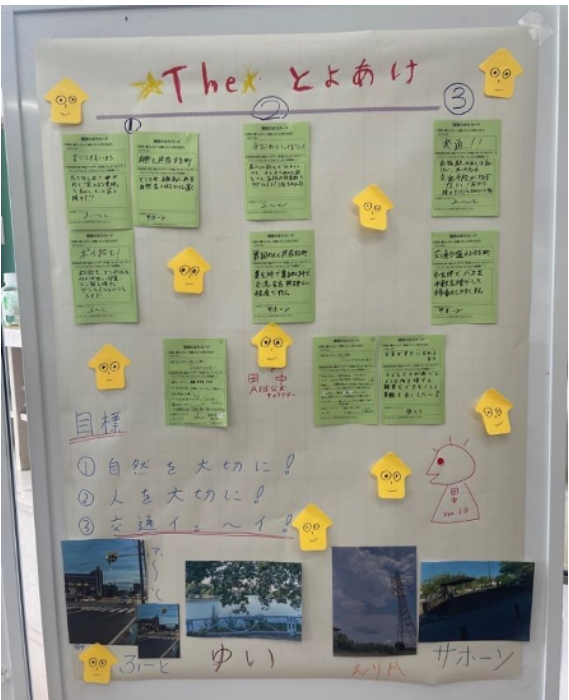
	日にち	対象者
第1回	5月31日(金)	豊明高校
第1回	6月6日(木)	星城高校
第2回 (合同)	7月13日(土)	豊明高校、星城高校 高校生18名



7月13日(土)会場:カラット



4. 高校生ワークショップ結果(暮らしたい、活動したいまちを描こう！)



【 ☆The☆ とよあけ 】

- ・大きな施設がなく、「花のまち豊明」を生かし、もっと花を増やす。
- ・自然をいかす…【重要】「ひまわり畑」「田植えプロジェクト」「民家カフェ」
- ・ポイ捨て、ごみの放置などが多い印象。ごみ箱を増やし、ごみを捨てるところを増やす。
- ・市全体でバスの本数を増やして移動しやすくする。
- ・親世代のサポート…高齢者市民(「くらしサポートプロジェクト」)や外国人市民(「雇用」する)と協力できるものがほしい
- ・「ひまわり畑」…雇用も考える、フォトスポット。メリットは豊明の魅力発信→経済まわる
- ・子どもたちが遊べるような所を増やし、雑草などをなくして景観を良くしたい。



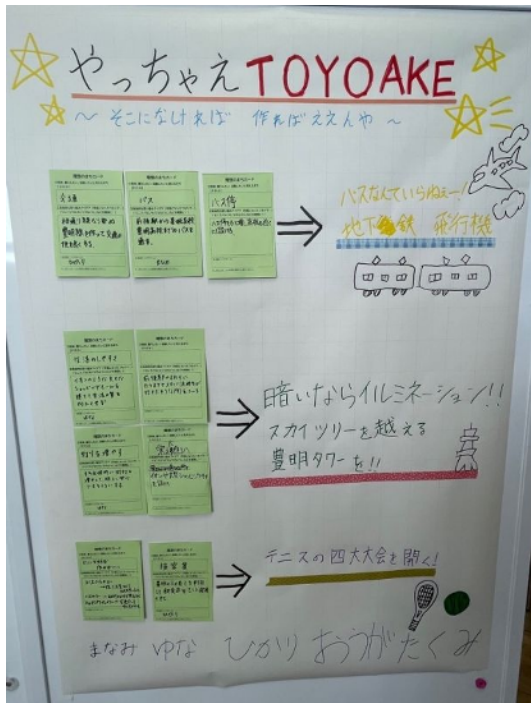
【 トカイナカ 】

- ・使っていない土地を遊べる場所に変える
- ・学校終わりに通いやすい場所にイオンや遊べる施設を置く。
- ・小さい子どもが安全に帰るように街灯を多くする or 光を強くする。
- ・街灯を増やして夜でも明るい道にする。
- ・お店・病院へのアクセスをよりしやすくしつつ、公園の緑(花)を守る。
- ・豊明高校の近くにバス停を置いて、学校に通いやすくする。
- ・ららぽーと、プライムツリー、ヒルズイオン等へのバスを出して、遊ぶ場所をつくるのではなく行きやすくする。
- ・木や森は残しつつ、伸びすぎている草や、でこぼこなコンクリートを直して、車も自転車も通りやすい道をつくる。



【 行きたくなる・住みたくなる豊明 】

- ・駅前に遊べる場所をつくる。わざわざ来たくなくなるようなお店の方がなおし。
- ・若者(高校生)が行きたくなるようなお店を駅周辺に増やす。
- ・まちの街灯を増やす。
- ・桜祭りを開く。
- ・あいさつ大切に。
- ・自然を守りつつ、道路を整備する。安全で自然豊かな市に。
- ・バスの便、駅を増やす。人の出入りを多くし、活発なまちに。
- ・バスの本数を増やしたり、駅を増やしたりする。
- ・地下鉄通す。
- ・レンタサイクル。



【 やっちゃん TOYOAKE 】

- ・～そこになければつくればええんや～
- ・桜通線ならぬ豊明線をつかって交通の便を良くする。
- ・バス停をもっと増やし、高校の近くにも設ける。
- ・前後駅の周りにカラオケやスタバ(高校生が行きたそうな場所)をつくる。
- ・まち全体的に街灯を増やして、明るく安心できるようにする。
- ・テニスコートがない。
→つくって大会を開く、四大会の1つに
- ・バスがない。
→名古屋市から地下鉄を引く
- ・ショッピングモールがない。
→空港をつかって中にデパートを
- ・豊明の人の良さを利用して飲食店をさらに発展させる。

5. 大学生インタビュー・アンケート概要

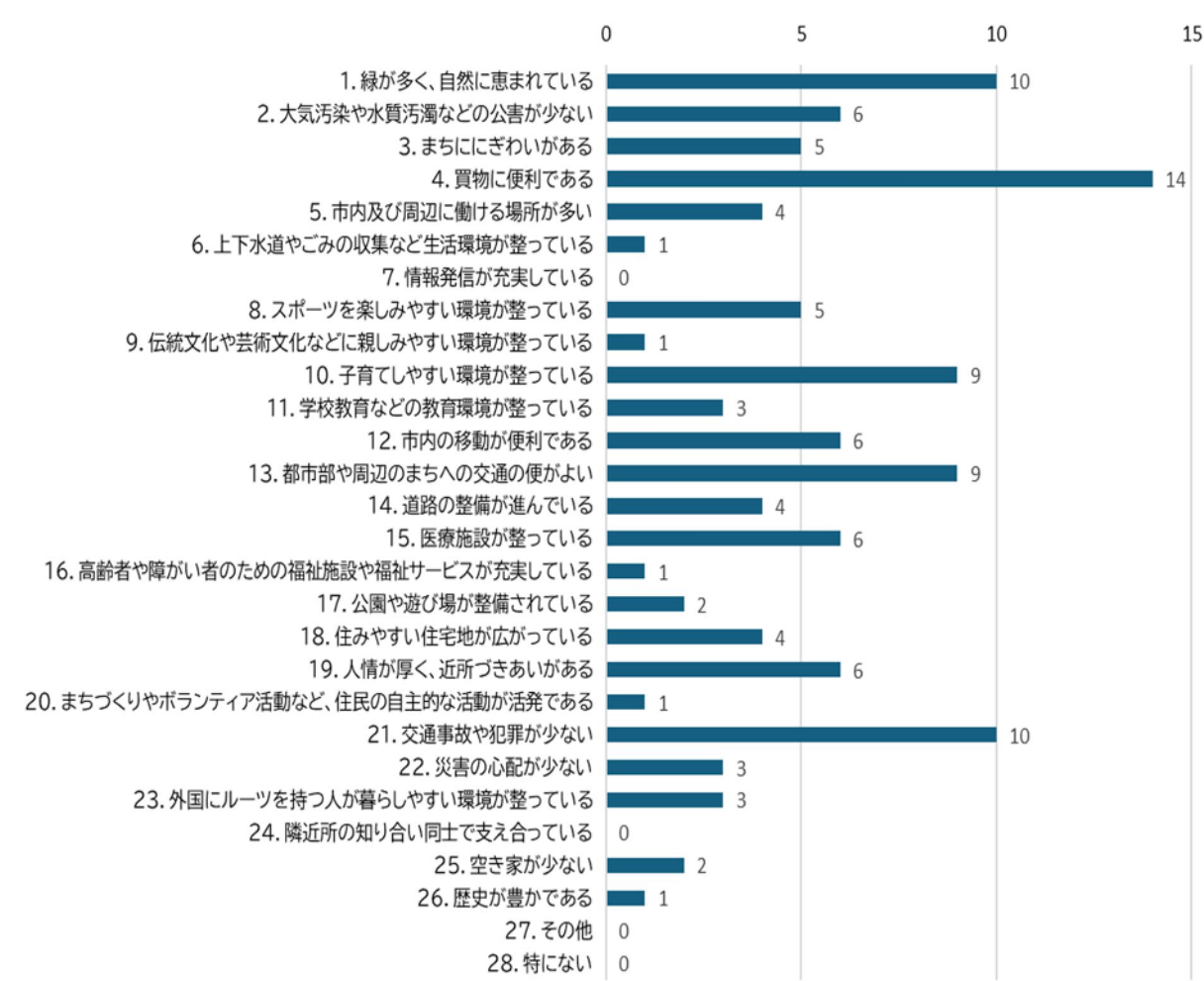
市内にある大学に通う大学生を対象としてインタビュー及びアンケートを実施しました。

大学名	実施日程	方法	対象者
名古屋短期大学	6月17日(月)	インタビュー	多文化社会論受講生 20名
藤田医科大学	8月16日(金)～9月20日(金)	WEB アンケート	6名／ボランティアセンター登録者 600名

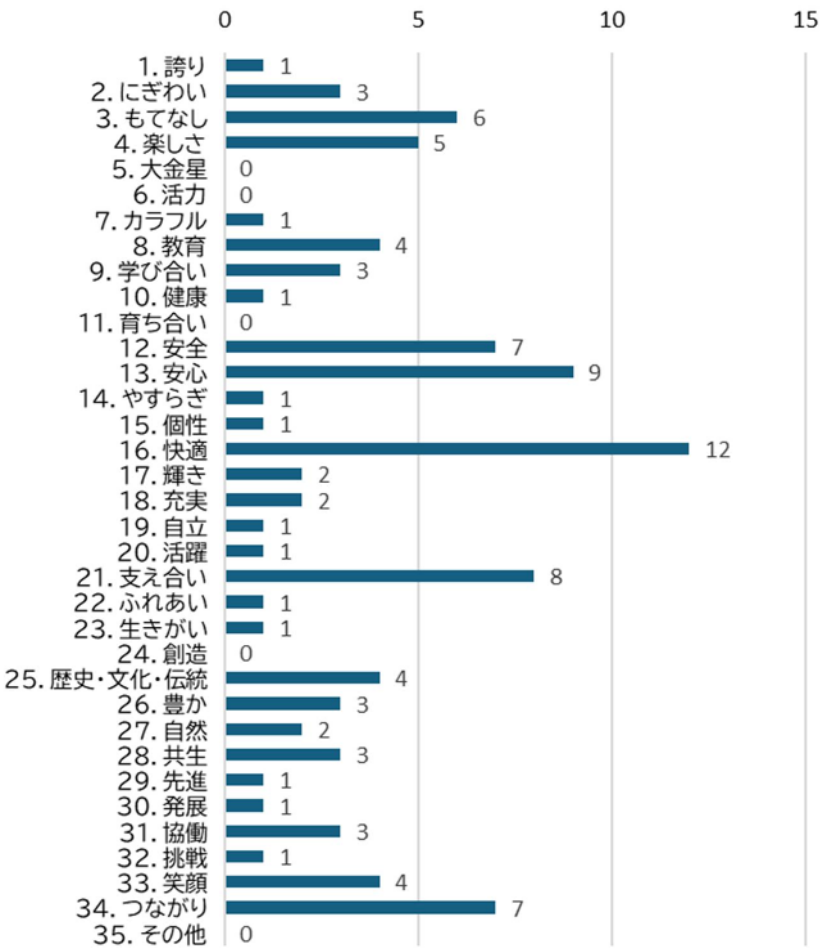
①回答者属性

市内	6
市外	20

②あなたは将来どんなまちに住みたいですか。(複数回答)



③ あなたがお考えになる「外国人が暮らしやすい環境」にどのような言葉(キーワード)がふさわしいと思いますか。(複数回答)(名古屋短期大学のみ)



カテゴリ	意見
3.もてなし	日本人といえば「おもてなし」
	やさしい人が多い
8.教育	子どもを育てる外国人家族には重要
	豊明市では外国から来た子どもへのサポート(プレスクール)がある
9.学び合い	お互いの文化や生活を教え合う(普段の生活のなかから)
13.安心	交通ルール・マナーの周知が必要
	災害時の情報(EnglishのみではNG)
16.快適	差別されることのない状態
	言語が通じる(不便がない)
	地域の資料が多言語化される
	欲しいものを入手できること、ふるさとの味へのアクセス
17.輝き	日本的な建物の美しさ
21.支え合い	外国人への支援(言語サポート)
34.つながり	安心のもと(国籍関係なく)

カテゴリ	意見
1.自然	目が良くなるから
	リフレッシュできる(散歩、ウォーキング)(豊明にはいくつかある)
4. 買い物	イオンとか、ショッピングモール。友達と遊べる場所(ドンキは OK)
	車がないと不便だと感じていたから、持っていない人も買い物しやすくして欲しい
	必要なものをすぐ買えるから
	日常生活に支障が出ないから
8.スポーツ	健康増進のために、公営プールなどがあると嬉しい
	体を動かすことが健康にいいから

カテゴリ	意見
10. 子育て	小さい子どもを持つ保護者が集まれる
	支援が多いと安心して暮らし続けられる
	保育園、幼稚園へのサポートが必要
	豊明は子育てしやすい。なんとなく良いまちという評判(周辺年寄りはやや劣るか)
13.交通	電車などですぐに都会に行けると良い
19.人情	私にとって幸せを感じるから。子どもができれば、そういった環境で育ってほしいと感じるから。
23.外国	外国にルーツをもつ人が住みやすいといい



グループ①



【健康福祉】

よくできました
市民の健康増進のためのウォーキングや軽スポーツの普及に努めている
藤田医科大学との連携、取組
藤田医科大学を中心に医療体制充実
もう少し頑張りましょう
人口の5～6％で発生率のある障害者がもう少し計画の中にあっても！（地域で一緒に暮らす）

【地域・市民生活】

よくできました
18, 19 災害・防災。実効性にこだわった訓練。自主防災組織連合会、避難行動要支援者登録制度。
15 支え合い、孤立することなく暮らせる。相談支援体制の強化、あいさつ運動、「ちょっと」等。
民間ボランティアは各所でよく活躍されている。支援の状況はよく知らないが必要に応じて対応してあげてほしい。
スタバができた
もう少し頑張りましょう
避難訓練は行われているが実際にどこまで有効か不明。より個別に対応できるようにするとよい。
お祭りが縮小している？（ソフトドリンクなかった）

【教育・歴史文化】

よくできました
子どもの教育環境が良い。
13 教育、子どもに関する予算が確保され、教育環境が良い。少人数学級、市費負担教員、外国籍児童などへの対応。
17 子どもが地域とつながり、カラットの利用拡大。居場所として有効に機能。
各種団体がそれなりの活動ができている。
もう少し頑張りましょう
不登校、いじめの増加傾向。
小学生向けの多世代、異文化交流。（体験機会）
英語教育など近隣（東郷町）と遜色ないようにしてほしい。
桶狭間古戦場関連の史跡など資源があるのに活かしきれていないように感じる。もったいない。
地域の歴史をより深く市民に伝えるための学芸員増員があるとよい。
若い人に郷土の誇りをもってもらうのは大変だが懐かしめる。

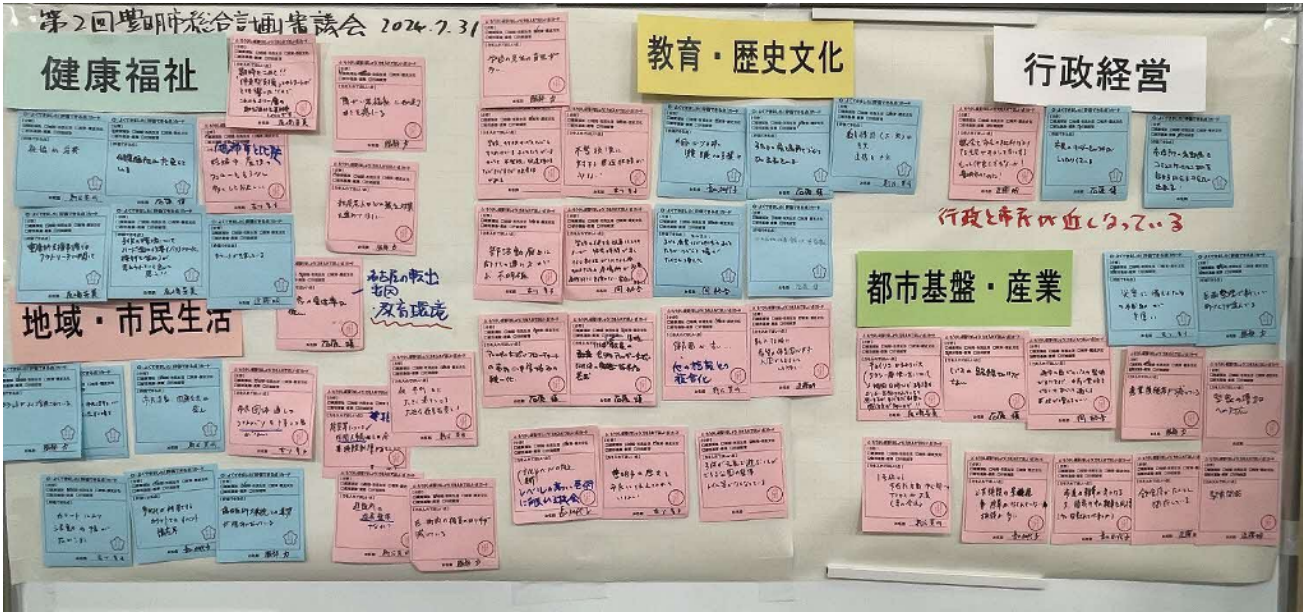
【都市基盤・産業】

よくできました
企業誘致を図り、税収増を図っている。
工場誘致が進んでいる。
工場団地造成など、今後の発展につながる活動をしていただいて良かった。
若い世代が地元で就労できるための方策は増える？
農作業に楽しめる環境が整っている。
もう少し頑張りましょう
居住地の整備
働く場所、企業
家や土地が刈谷市よりも安かったらすぐにでも引越したい
大型商業施設などがあると住みやすい、来たい
活気あるまちづくりにつながる企画はある？
早朝の交通整理
大都市近郊の市と農業（農地）と生活の考えを

【行政経営】

よくできました
市民の声を計画に反映させようとしている。（本計画策定にあたって）
26, 27 情報発信のチャンネル、総合計画マネジメント、行政評価の実施
行政の仕事具合全般
大きな失敗はなくうまくやっていたいている
もう少し頑張りましょう
委託を少なく直営を！（丸投げはダメ）

グループ②



【健康福祉】
よくできました
社協が活発
健康福祉が充実している
子育て支援センターで集える場所があるのはありがたい
重層的支援制度でのアウトリーチに関して
子どもの環境について、ハード面の改善（バリアフリー化、検討も含め）が考えられていて良いと思う！
カラットが充実している
もう少し頑張りましょう
期待を込めて！「伴走型支援」というワードがとても響いたので、これからより一層の取組を期待したいです！
妊娠中、産後のフォローをもう少し多くしてほしい。（他都市と比較）
障害者福祉に物足りなさを感じる
独居老人などの孤立対策を進めてほしい

【地域・市民生活】
よくできました
市民活動、国際交流が盛ん
カラットにより活動の幅が広がった
多世代が利用できるカラットでのイベント、講座など
藤田医科大学病院との連携が強みになっている
カラットがよく活用されている。
もう少し頑張りましょう
若年層の定住率が低い（名古屋の転出、要因は教育環境）
市民団体同士のつながりを持つ場がない
防災等について外国人市民との合同避難訓練があるといい
避難所の冷房設備十分か？
区、町内の役員なり手が減っている

【教育・歴史文化】	
よくできました	
外国にルーツを持つ児童、生徒への支援	
子どもの居場所づくりが出来ている	
小中学校体育館への冷房	
教育機関（大、短）が充実。連携も十分。	
マルシェ、子ども食堂など地域の子どもたちが集える場がたくさん増えた	
もう少し頑張りましょう	
学校の先生の負担が多い	不登校児に対する選択肢が少ない
部活動廃止に向けての進み方が不明確	小中学校教員の食物アレルギー対応研修の養成
他市町に大きく差をつける大胆な教育投資を！	保育園が古い（他の施設との複合化）
学校、行政サービスなどをすり抜けている子どもたちがいるのでは。不登校、発達特性などまだまだ改善策がある。	
学校の働き方改革はとてもよいが、帰宅時間が早くなり部活がなくなる分その子たちの居場所が必要。金銭的な支援のない家庭は特に。	
アレルギー対応フローチャートの市内小中学校での統一化。	
転入するときに希望の保育園に必ず入園できるようにしてほしい	
豊明市の歴史を市民に伝えきれていない	
文化、芸術レベルの向上（レベルの高い芸術に触れる機会）	
子どもが元気で遊ぶことができる公園の整備。トイレ等がなくなっている	

【都市基盤・産業】	
よくできました	
災害に備えるための補助が手厚い	
区画整理で新しい町づくりが進んでいる	
もう少し頑張りましょう	
空き家の増加への対応	駅前開発
バスの路線が少ない	飲食店がたくさん閉店している。
ちょいそこ、ひまわりバス、タクシー券使い方について。時間、日時など路線もより良い方向になっていると思いますが、まだまだ不便と感じる方が多いので！	
通学の面でのバスの整備がまだまだ。中高一貫校もできる中安心して通える便が増えるといい。	
農業後継者が減っている	
1号線から市役所方面中心部へのアクセスが大変（車の合流）	
公共施設の景観。除草がなされていない施設が多い。	
歩道の雑草が気になる。また、植栽の中の雑草も同様（少し改善されてはきたが）	

【行政経営】
よくできました
市長のリーダーシップがしっかりしている（行政と市民が近くなっている）
市役所の各部局とコミュニケーションを良好に取ることが出来る
もう少し頑張りましょう
議会で市長の批判ばかりする意見やチラシを目にする。もっと仲良くできないか？豊明市のために！

将来のまちづくりを考える「とよあけ未来カイギ」が開会！

～ 第1回 とよあけ未来カイギ 開催レポート ～

2024年 9 月 14 日(土)9 時半～正午、豊明市役所にて「とよあけ未来カイギ」を開催しました。この会議は、将来のまちづくりの方針を定める第6次総合計画策定にあたり、豊明市のまちづくりを考えていただく機会として開催するものです。

市民のみなさんと豊明市の「将来都市像」や「めざすまちの姿」等について、意見交換をすることを目的として、2024年 9 月から11月にかけて計3回開催します。以下、第 1 回の様子をご紹介します。

■冒頭に小浮市長からあいさつがありました！

はじめに、本会議の開催にあたり、小浮市長からあいさつがありました。以下、内容の一部をご紹介します。

10年前に現在の計画をつくる際にも、「人口減少」や「つながりが希薄している」等の課題をふまえ、みなさんの言葉を集約した「みんなでつなぐ しあわせのまちとよあけ」という言葉になった。今回も外国人人口の増加等10年前には予測がつかなかった現象も起きている。今回も、「私たちが次の豊明をつくる」という気持ちで3回のワークショップを楽しんでもらい、豊明市のまちづくりを考えていただきたい。



■幅広い世代から23 名が参加！アイスブレイクでお互いの自己紹介で盛り上がる

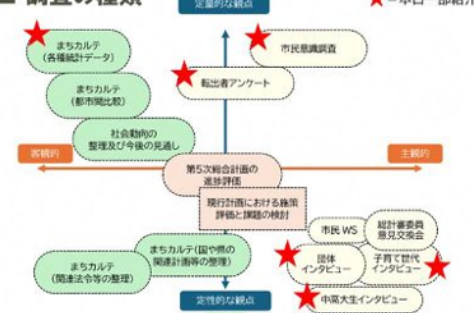
参加されたのは、無作為抽出による市民意識調査対象者の中の参加希望者をはじめ、豊明市で活躍する市民活動団体等からの参加希望者の合計23 名。市民の参加者には、親子連れで来ていただいた方や、10 代から 80 代まで幅広いメンバーが集まりました。

自己紹介はテーブルごとに行い、居住年数や参加したきっかけ、豊明市の好きなところを共有しました。豊明市に引っ越してきて間もない方や、生まれてから50年以上住み続けている方等、様々なバックグラウンドを持つ人同士で意見交換をしていくことが分かり、ムードが高まりました。



■ガイダンス これまで実施してきた調査結果をシェア

■ 調査の種類



意見交換を進める前に、計画策定に係る調査結果が共有されました。

市民3000人を対象とした市民意識調査の結果からは、豊明市の魅力について、「名古屋市や周辺のまちへの交通の便がよい」や「緑が多く、自然に恵まれている」、「医療施設が整っている」等が上位にあげられていることや、今後豊明市が目指していくべき将来像のキーワードとして、「安全」、「安心」、「にぎわい」等が上位にあげられていること等、紹介しました。

■クイズタイム「最新の豊明市の人口を予想しピットリ賞を狙おう！」

ガイダンスをふまえて豊明市にまつわるクイズを行いました。参加者は最新(2024年9月現在)の豊明市の人口を楽しく予想しピットリ賞を狙いました。上位 3 名には景品(武将マフラータオル)が贈呈され、和やかな雰囲気が形成されました。



■みんなで豊明市の強み・弱みを分析し、意見交換！（1周目）

続いて、メインとなる意見交換です。参加者は4つのグループ(健康福祉、地域・市民生活、教育・歴史文化、都市基盤・産業)に分かれ、各分野について「よくできた点」や「もう少し頑張るべき点」等を出し合い、意見を整理しました。1周目は「健康福祉」、「地域・市民生活」グループの内容を一部ご紹介します。

健康福祉グループでは、「子育て支援の相談にしっかり対応してもらえ」や「自治会の防災訓練等で障がい者の居場所が確保されている」等がよくできた点としてあげられました。一方で、「子どもを気軽に預けられる場所が少ない」等がもう少し頑張るべき点としてあげられました。

地域・市民生活グループでは、よくできた点として、「ごみ袋の賃上げをせず減量の宣言を頑張っている」や「登下校時の見守りができている」、もう少し頑張るべき点では「町内会・自治会役員などの担い手不足」等の意見が出されました。



■メンバーを変えてさらに踏み込んでディスカッション！（2周目）

2 周目では、1周目の結果をふまえて、参加者が希望するテーマに移動し、さらに議論が進められました。ここでは「教育・歴史文化」、「都市基盤・産業」グループの内容を一部ご紹介します。

教育・歴史文化グループでは、「高齢者の学びの機会が多い」や「校内にフリースクールがある」等がよくできた点としてあげられました。一方で、「地域との交流の授業が減った」等がもう少し頑張るべき点としてあげられました。

都市基盤・産業グループでは、よくできた点として、「主要道路の白線をきれいに整備してくれた」や「現在の自然をこれからも残してほしい」、もう少し頑張るべき点では「飲食店が少なく懇親会を開催する施設が少ない」等の意見が出されました。

また、全体的に「市内の移動」「情報発信」に力を入れて欲しい等の意見がありました。



■最後に継続的な協力をお願い

閉会にあたり、改めて事務局より、今回の会議は、豊明市の将来のまちづくりのための貴重な議論の場であることをお伝えし、第2回以降も引き続きご参加・ご協力いただくことをお願いしました。



第2回「とよあけ未来カイギ」を開催しました！

～ 第2回 とよあけ未来カイギ 開催レポート ～

2024年10月19日(土)9時半～正午、豊明市役所にて第2回「とよあけ未来カイギ」を開催しました。

この会議は、将来のまちづくりの方針を定める第6次総合計画策定にあたり、豊明市のまちづくりを市民の皆さんと一緒に考える機会として、2024年9月から11月にかけて全3回開催しています。第2回となる今回は、豊明市の「将来都市像」や「めざすまちの姿」等について、意見交換を行いました。

以下、第2回の様子をご紹介します。

■第2回は19人が参加！今回からの新規参加者も数名

今回は19名の方にご参加いただきました。第1回から引き続き参加した方が13名、またその方たちの紹介などで新しく参加いただいた方が6名いらっしゃいました。今回も親子連れでの参加をはじめ、10代から80代までの幅広いメンバーでの話し合いとなりました。

今回の目的はめざすまちの姿の検討であるため、冒頭では市からのあいさつと一緒に、第1回のふりかえりとこれまでの総合計画についての説明を行いました。

■豊明市の将来都市像を考えよう！

最初は、新しい総合計画の将来都市像を考えるための話し合いをしました。これまで「市民意識調査」や「各種グループインタビュー」等を通じて、豊明市が目指す将来都市像に関するご意見を伺ってきました。その結果も見ながら、参加者の皆さんにも事前に考えてきたり、周りにインタビューしたりして持ち寄った「豊明市がこうあってほしい」というキーワードを4つ記入し、発表しました。

そのあと各グループで、よく似たキーワードをまとめるなど整理して参加者の皆さんが大事にしていることを“見える化”しました。

様々な角度からのご意見がありましたが、「安全・安心に暮らせる」「元気や笑顔、にぎわいなどエネルギーを感じること」「世代や立場を越えて、つながり・支え合うこと」などは多くのグループで共感を得ていました。

■グループワークに向けて施策体系案の検討経過を報告



次のグループワークに先立ち、市から現在検討中の施策体系の検討経過と現時点での案の説明がありました。

合わせて、意見交換の参考となる情報として、これまでに実施した各種調査の結果概要を共有しました。

各種調査の結果から出た市民課題解決に向けて、これから市が特に力を入れて取り組む分野が紹介されました。



後半は、現時点での施策体系(案)それぞれについて、めざすまちの姿を検討するグループワークを行いました。

グループワークでは、まず取り組みのアイデアを出し合い、意見交換・整理をしたのち、めざすまちの姿につながるキーワードを出し合うという手順を進めました。

■めざすまちの姿を考えよう！【育み・学び 分野】

【取組アイデア】

グループ	意見概要(抜粋)
A	○ 保育園で朝食を提供し、通勤先が市外の共働き世帯でも豊明市に住み続けられるようにする ○ 一時的な預かり場所をつくる
B	○ 子育ての悩みや思いを気軽に話し合える場をつくる ○ 夏休み等の長期休暇時保育
C	○ “ここに行けば、いろいろなつながりをもてる”子どもの居場所づくり(体験、イベント、相談、ショッピングなど)をする ○ 保育園の情報集約化(HPで一目見て分かる)
D	○ 不登校の子どもが昼間に安全にいられる場所をつくる ○ スクールバスのような、子どもの習い事の送り迎えをする

【めざすまちの姿(キーワード・抜粋)】

- ◇ 共働き世帯がいきいき
- ◇ 子どもも親も豊かに暮らせる
- ◇ 取りこぼさない、支援の循環
- ◇ 遊びながら学べる場づくり



■めざすまちの姿を考えよう！【支え合い 分野】

【取組アイデア】

グループ	意見概要(抜粋)
A	○ 孤立しがちなひとり世帯でも参加できるようなイベント企画をしてつながりをつくる ○ オンライン診療の推進
B	○ 病気のある人も、障害のある人も一緒に支え合う地域づくりに取り組む ○ 図書館機能の充実、カフェや学習ルーム併設の図書館にする
C	○ 乳児からシニアまで行政のサポートが一目でわかるガイドブックをつくる ○ 高齢者へのお宅訪問や見守り訪問
D	○ 卓球、ボッチャなど、多くの市民が参加できる様々なスポーツを大会として企画・運営する ○ 障がい者と子どもが交流し、理解を深める

【めざすまちの姿(キーワード・抜粋)】

- ◇ 1人でも安心して暮らせる
- ◇ 高齢者や障がい者の心によりそうまち
- ◇ 活動的、外出、行動
- ◇ スポーツ人口の増加



■最後に継続的な協力をお願い

閉会にあたり、この会議は、豊明市の将来のまちづくりのための貴重な議論の場であること、第3回では引き続き、めざすまちの姿を検討しつつ、今後のまちづくりについて取りまとめるため、ご参加・ご協力いただくことをお願いしました。

全3回の「とよあけ未来カイギ」が終了しました！

～ 第3回 とよあけ未来カイギ 開催レポート ～

2024年11月9日(土)9時半～正午、豊明市役所にて第3回「とよあけ未来カイギ」を開催しました。

この会議は、将来のまちづくりの方針を定める第6次総合計画策定にあたり、豊明市のまちづくりを市民の皆さんと一緒に考える機会として、2024年9月から11月にかけて全3回開催しました。最後となる第3回は、豊明市の「めざすまちの姿」や「私のまちづくり宣言」等について、意見交換を行いました。

以下、第3回の様子をご紹介します。

■第3回は22人が参加！幅広い世代でディスカッション

今回は22名の方にご参加いただきました。今回も親子連れでの参加をはじめ、10代から80代までの幅広いメンバーで4つのグループに分かれて意見を出し合いました。

冒頭には、市長からあいさつがあり、「みなさまが議論している内容は総合計画の策定に役立てるだけでなく、来年度の予算に関わる可能性もある。私のまちづくり宣言も含め言い残すことのないように思い切ったことをおっしゃっていただきたい」というコメントがありました。

第2回に引き続き、めざすまちの姿を検討するため、施策体系案の検討経過とワークの進め方について事務局から説明しました。

第3回では、「住みやすさ分野」と「賑わい分野」についてめざすまちの姿を考えました。以下、出された意見をご紹介します。



■めざすまちの姿を考えよう！【住みやすさ 分野】

【取組アイデア】

グループ	意見概要(抜粋)
A	○ バスの見直しやアプリの活用など外出しやすくなる取り組みをする ○ ごみの分類方法を多言語で動画配信する
B	○ 新しく役員になる人にスムーズな引継ぎをするために、町内会の運営方法を見直す ○ 田植え体験や耕作前にどろんこサッカーなどをして、資源の活用と耕作を知る機会をつくる
C	○ スタンプラリーやジョギングしながらごみ拾い(プロギング)をする公園ツアーを実施 ○ 市民から危ない場所の写真を集めるプラットフォームをつくり、市は集まった写真を見て対応していく
D	○ 企業との協賛で防災グッズをつくり市民に配布する ○ 中高生の居場所や遊ぶ場所(スポーツができる)をつくる

【めざすまちの姿(キーワード・抜粋)】

- ◇ 周りに関心を持ち、お互いを尊重する
- ◇ 人同士をつなぐ、統率できる地域リーダーの育成
- ◇ 花の街としてもっと花を増やす
- ◇ 若者、子育て世代が住みやすいまち



■めざすまちの姿を考えよう！【賑わい 分野】

【取組アイデア】

グループ	意見概要(抜粋)
A	○ 前後駅前広場にくつろぐ空間があり、パルネスと連携しながらマルシェや演奏会などをする ○ 農業をやりたい人が勉強するための農業支援セミナーを開催する
B	○ 桶狭間古戦場伝説地や大脇の梯子獅子など歴史や文化のアピールコンテストを開催し、若者にも知ってもらう ○ 地産地消、雇用、農地の活用、地域のつながりなど IT を活用して持続可能な稼げる農業システムをつくる
C	○ 省スペースでできる業者など、中小企業の活性化を図る ○ 学生主導でアニメや漫画とコラボし歴史フェスを開催する
D	○ 新たな観光地を生み出すよりは、他の地域からも「豊明に住みたい」と思えるようなまちへ ○ 農業をやりたい若い人が参入しやすいためマッチングシステムをつくり農地を保全し活用する

【めざすまちの姿(キーワード・抜粋)】

- ◇ 市民が楽しみながら関わる、市内の人にもっと知ってもらう
- ◇ 市内の人でも知らない人も多い、魅力をもっとアピール
- ◇ 遊んで学べる農業
- ◇ 立ち寄れる施設(店)を増やし、住みやすく便利なまちに



■私のまちづくり宣言

最後に、とよあけ未来カイギに参加した方々が、今後の豊明市のまちづくりに向けて頑張りたいことを「私のまちづくり宣言」として発表しました。

参加者からは、「老若男女ご縁でつながりながら行動していきます！」、「ボランティア活動を頑張ります」、「学生としてこの町を楽しむ」、「地域農業を守る。伝統文化を守る」といった個々人のご経験や生活に基づく視点から、豊明市の未来が明るくなるような宣言をたくさんいただきました。



■みんなで記念撮影！

閉会にあたり、市長からご参加いただいた皆さんにお礼を申し上げ、引き続き市政へのご参加・ご協力をお願いしました。

最後に、みんなで記念撮影を行いました。改めて、「とよあけ未来カイギ」にご参加・ご協力いただいた皆さんには厚く御礼申し上げます。



庁内策定経過

1. 概要

第6次総合計画策定に向けて、市民意識調査及び各種グループインタビュー等の結果、市民の皆さまから出た豊明市の強み(良いところ)・弱み(悪いところ)を見ながら分野ごとに課題を洗い出し、庁内全体で将来の豊明市のまちづくりに必要な取り組みを検討しています。将来都市像及びめざすまちの姿の実現に向けて取り組みを体系化することでより実効性の高い計画づくりを進めています。

2. 庁内策定検討経過



3. 市民課題解決に向けてこれから市が特に力を入れて取り組むテーマ(分野)

(1) 育み・学び

こどもまんなかまちづくりの実現に向けて、こども本人の成長を見守る支援や親への子育て支援策、学校教育及びこどもの居場所づくりを推進する。

(2) 支えあい

誰一人取り残さない考えのもと、医療介護制度の周知や高齢者・障がい者等の福祉の充実、健康づくりの推進を図る。

(3) 住みやすさ

多様な主体者による地域づくりを推進するとともに、持続可能なまちづくりに向けて良好な自然や生活環境を保全し、安全安心な都市基盤を形成する。

(4) 賑わい

歴史的資源や伝統文化を活用しながらまちの魅力を高め、農業や商工業など雇用の促進や働きやすい環境を整備し産業の活性化を図る。

第6次豊明市総合計画

(総論・基本構想(案))

2026 年度～2031年度

第1編 総論

1 計画の趣旨

本市における総合計画は、将来のまちづくりを総合的かつ計画的に進めるための長期的な市政運営のための最上位計画です。

2010年までは地方自治法で策定が義務付けられていましたが、2011年の改正により策定義務はなくなりました。その中で、本市を取り巻くさまざまな課題解決に向けて、行政だけではなく市民や事業者等全員が一丸となって明確なビジョンを持ったまちづくりに取り組むため、法改正以降も2013年に豊明市総合計画条例を制定し、総合計画を策定しています。

これまでの総合計画の計画期間と未来像・都市像

	第1次総合計画	第2次総合計画	第3次総合計画	第4次総合計画	第5次総合計画
計画期間 (年数)	1974-1985 (12)	1985-1995 (11)	1996-2005 (10)	2006-2015 (10)	2016-2025 (10)
未来像 都市像	豊かで 明るい 住みよい豊明市	豊かで 明るく 健康な文化都市	住んでよかった、 住みつけたいまち	人・自然・文化 ほほえむ 安心都市	みんなでつなぐ しあわせのまち とよあけ
人口	41,786 人 ※4次総計記載の人口	55,575 人 ※4次総計記載の人口	63,263 人 ※1996.3.31 時点	66,093 人 ※2006.3.31 時点	68,706 人 ※2016.3.31 時点

第5次総合計画では、将来都市像に「みんなでつなぐ しあわせのまち とよあけ」の実現に向け、7つのまちづくりの理念(安心、快適、健やか、つながり、誠実、元気、挑戦)をもとに、40の「めざすまちの姿」を掲げ、まちづくりを進めてきました。

第5次総合計画に位置づけられた取り組みを進めた結果、まちづくり指標の7割以上が目標に向けて進捗しており、豊明市のまちづくりは着実に前進しています。一方で、めざすまちの姿やまちづくり指標との連動がしきれていない事業がある等、課題も残されています。

また、全国的な人口減少や社会の成熟化、生活様式や価値観の多様化により社会の変化が激しく未来の予測が難しい時代に突入しています。そんな中、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)^{※1}やカーボンニュートラル^{※2}の達成に向けた世界的な共通目標の達成に向けて、まちを発展させる取り組みが求められています。

これらを踏まえ、豊明市に関わる誰もがしあわせになるまちに発展させるため、より効果的・効率的な行政運営の指針となるよう新たな総合計画「第6次豊明市総合計画」を策定しました。

※1 2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17の目標・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓った目標。

※2 二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、植林や森林管理などによる吸収量を差し引いて、合計が実質ゼロとなった状態。

2 計画の構成と期間

1. 計画の構成

本計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成します。

基本構想は、市のまちづくりの基本的な理念であり、将来都市像とそれを実現するための「めざすまちの姿」や人口や土地利用の基本目標を明らかにしたものです。

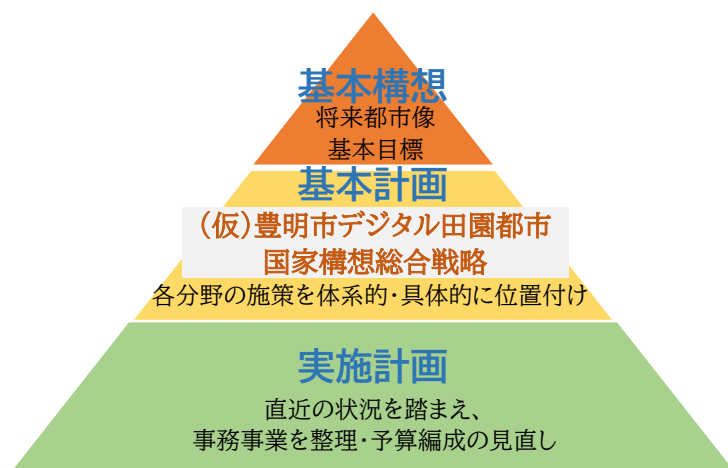
〔計画期間：2026年度(令和8年度)～2031年度(令和13年度)〕

基本計画は、基本構想で掲げた「めざすまちの姿」を実現するため、各分野において取り組む施策を体系的に示すとともに、まちづくりの達成状況を測る指標の継続的な把握によりまちづくりの進捗管理を行うものです。

〔計画期間：2026年度(令和8年度)～2031年度(令和13年度)〕

実施計画は、基本計画で位置付けた施策を実現するため、財政状況や社会環境、市民ニーズなどを考慮し、具体的な事務事業を整理し、予算編成の指針とする短期計画です。

〔計画期間：2026年度(令和8年度)以降、3か年(ローリング方式で見直し)〕



2. デジタル田園都市国家構想総合戦略との関係性

国では、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、国と地方が一体となって、デジタル田園都市国家構想総合戦略を定め、地域の社会課題の解決と魅力向上を図ることとしています。

本市では、人口減少に歯止めをかけつつ、誰一人取り残されない、誰もが普通に暮らせる幸せを実感できるまちの実現に取り組むため、(仮)豊明市デジタル田園都市国家構想総合戦略(以下、「総合戦略」という。)を策定・推進しており、この課題は総合計画におけるまちづくりの主要課題と一致するものです。本計画では、総合戦略の内容を重点戦略として位置づけ、一体的に施策の推進を図るとともに、重要業績評価指標(KPI)を設定し、進捗管理を行うものとしします。

3 計画策定の背景

1. これまでに経験したことのない人口減少・少子高齢化社会

日本の総人口は、2023年10月1日で1億2,435万人と、前年よりも60万人近く減少し、2008年以来13年連続減少となっており、さらに減少幅が12年連続で拡大しています。

65歳以上及び75歳以上の高齢者人口の割合は、過去最高となっている一方、15歳未満人口の割合は過去最低となっています。外国人は前年より24万人増えており、2年連続増加となっているものの、全体でみると人口減少はさらに加速することが想定されます。

2. あらゆるリスクに備えるしなやかな国づくり

現代社会は、自然災害や気候変動といった従来のリスクに加え、感染症の拡大やウクライナ情勢をはじめ国際的に不安定な状態が続くなど新たな課題に直面しています。

自然災害面では、特に東海地域において南海トラフ地震などの大規模地震をはじめ、台風や近年頻発する局地的な集中豪雨などに対する危機感が高まっています。

深刻化する気温の上昇により、猛暑日が増加傾向にあり熱中症の発生を増加させ、都市部ではヒートアイランド現象^{※3}が加わり健康面への影響を与えています。また、高温による農作物の生育不良や収穫量の減少、冷房の需要が増えることによるエネルギー消費の増大など、あらゆる場面で人々の生活に大きなダメージを与えています。

公衆衛生面においては、2020年から感染拡大した新型コロナウイルス感染症は、社会経済・日常生活に甚大なインパクトをもたらし、多くの場面で影響を与えました。特に、公衆衛生分野では、感染に係る情報の収集・発信、新規感染者の把握などの対応に追われる状況が続きました。

ウクライナ情勢をはじめとする国際的な紛争や情勢の不安定化に伴うエネルギー価格の高騰、デジタル技術の発展により脅威を増すサイバー攻撃^{※4}など、これまでに想定されなかった新たなリスクが増加しています。

※3 都市の気温が周囲よりも高くなる現象。

※4 インターネットやデジタル機器を絡めた手口で、個人や組織を対象に、金銭の窃取や個人情報の詐取、あるいはシステムの機能停止などを目的として行われる攻撃。

3. 公共施設・インフラ資産の老朽化への対応

戦後の復興期から高度経済成長期にかけて、またバブル経済崩壊後の経済対策を通じて、学校、保育園などの公共施設や道路、上水道、下水道などのインフラ資産が集中的に整備され、これらの資産が築後20年から50年以上を経て、大量に更新時期を迎え、多額の更新費用等が必要となる見込みです。

地方公共団体においては、厳しい財政状況が続く中で、今後、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが想定され、財政規模に見合わない公共施設を保有し続けると、将来、次世代の負担が増えることになるだけでなく、真に必要な公共サービスの維持が困難になる恐れがあります。

4. 孤独・孤立問題の顕在化

社会構造の変化(単身世帯の増加、働き方の多様化、インターネットの普及など)により、家族や地域、会社などにおける人との「つながり」が薄くなり、誰もが孤独・孤立状態に陥りやすい状況になっています。加えて、コロナ禍により社会環境が変化し、孤独・孤立の問題が顕在化・深刻化しています。

これまで、障がい者や高齢者などの属性に対して支援制度を設けることで専門的支援体制を構築してきましたが、社会的孤立など、生きづらさはあるが既存の制度に当てはまらない人や、社会的課題などが複雑化・多様化する個人や家庭が増えてきています。

5. 価値観や生活様式の多様化

現代社会では、人々の生活様式の多様化が進んでいます。例えば、働き方改革により性別にとらわれた役割の枠組みがなくなるとともに、ワークライフバランス^{※5}を重視する傾向が強まっています。また、二拠点生活やテレワーク^{※6}、時間や場所にとらわれない働き方など自由で柔軟な働き方が注目されています。その他にも、シェアハウス^{※7}やサブスクリプション^{※8}の利用などシェアの概念が広まっているとともに、同性カップルや多世代同居といった多様な生活様式が一般的になりつつあります。

これは、価値観の多様化と大きく関連しています。世代間の価値観の違いから生まれる問題や、副業を許容する動きが広まるなど、価値観の変化などが顕著です。また、多文化共生^{※9}やLGBTQ+^{※10}など、人種や国籍、性別、年齢、障がいの有無などにとらわれず、人格と個性を尊重し、認め合うことで、自分らしくいきいきと暮らせる多様性を認め合う考え方が広がっています。

※5 働くすべての方々が、「仕事」と「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方。

※6 ICT(情報通信技術)を利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方。

※7 自分の部屋以外のリビングやキッチンなどの居住スペースを、ほかの入居者と共有(シェア)しながら生活する住居。

※8 月単位または年単位で定期的に料金を支払い利用するコンテンツやサービス。

※9 国籍や民族の違いを尊重し、共に生きることを目指す考え方や政策。

※10 性的マイノリティを表す総称の一つ。Lesbian(レズビアン)、Gay(ゲイ)、Bisexual(バイセクシュアル)、Transgender(トランスジェンダー)、Questioning(クエスチョニング)または Queer(クィア)の頭文字を取った言葉。最後の+は、LGBTQ のいずれにも該当しない人たち。

6. 社会問題を解決するための革新的な事業や取り組みの浸透

次世代高速通信網(5G)や人工知能(AI)^{※11}に代表されるデジタル技術の急速な発展により、様々なサービスが創出され、あらゆる場面でデジタル化が進んでいます。例えば、自動車の自動運転の実用化が開始され、買い物や手続きなどのオンライン化・キャッシュレス決済が社会に浸透してきています。

我が国も、デジタル田園都市国家構想を掲げ、デジタル技術を活かして地方の社会課題解決を図り、全ての地域で誰もが便利で心地よい生活を送れる社会の実現を目指しています。行政サービスにおいても、マイナンバーカードを用いた各種手続きのオンライン化などデジタル技術を活用し、住民の利便性向上につながる取り組みが行われています。

※11 Artificial Intelligence(アーティフィシャル インテリジェンス)の略称。人によって作られる人間と同じような知能。

4 豊明市の現状

1. 人口の推移

本市における人口は、1958 年から 1980 年まで急激に増加し、それ以降は緩やかな増加傾向にありました。一方で、2020 年の 69,027 人をピークに減少に転じています。

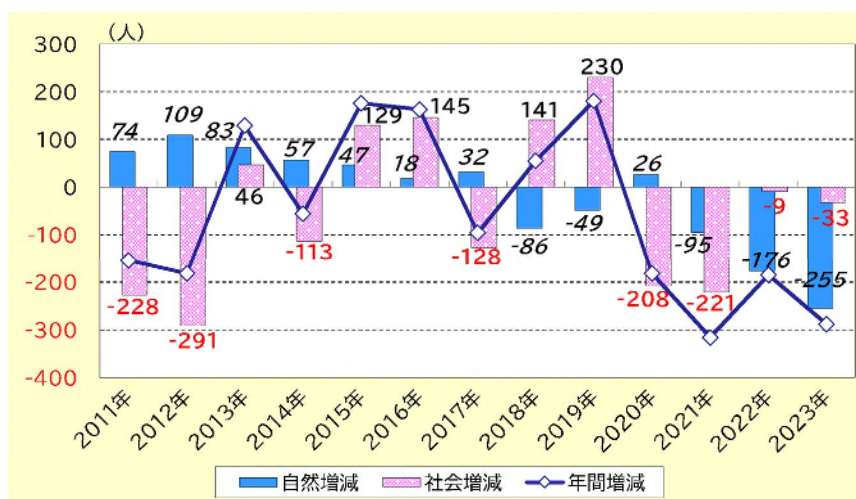
また、外国人人口が 2016 年の 2,620 人から 2024 年の 3,995 人に増加しており、外国人人口割合は 5.9%となっています。



出典:とよあけの統計(住民基本台帳)(各年4月1日時点)

2. 人口動態

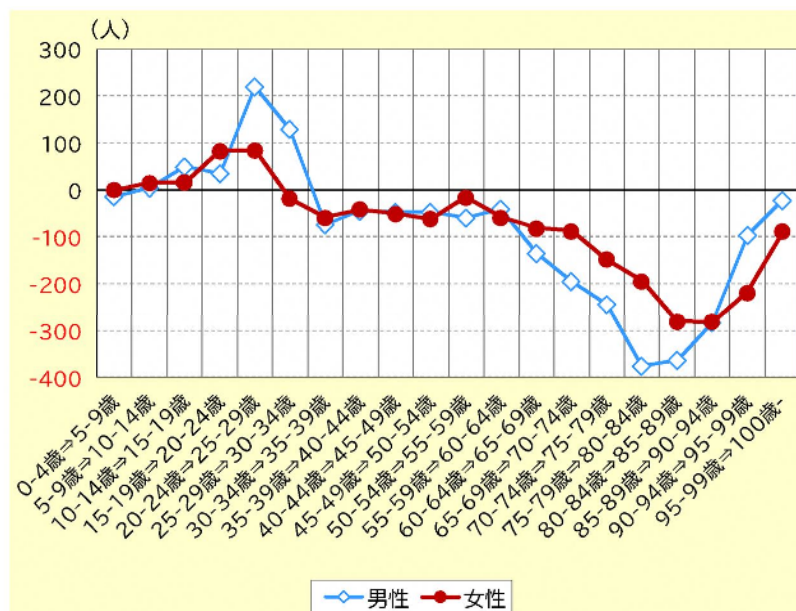
自然増減は、2018 年以降は 2020 年を除き“自然減”の状態が続いており、社会増減は、2020 年以降は“社会減”の状態が続いています。年間増減の推移をみると、社会増減の推移の影響が大きいことが分かります。



出典:とよあけの統計(住民基本台帳)(各年4月1日時点)

3. 5歳階級別人口増減の動向

2018 年から 2023 年までの年齢5歳階級別人口増減について、若年層でみると25-29 歳⇒30-34 歳で男性が増加している一方で、女性は減少しています。



出典:とよあけの統計(住民基本台帳)(各年4月1日時点)

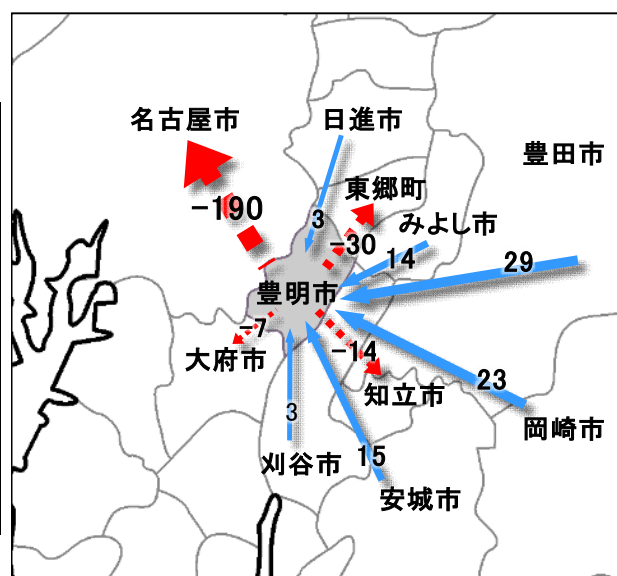
4. 近隣市町との転入・転出の動向

2023 年の近隣市町との転出入の動向をみると、転入者数、転出者数ともに、名古屋市、刈谷市、豊田市の順で多くなっています。また、転入超過数は豊田市、岡崎市、安城市の順で多くなっており、転出超過数は名古屋市、東郷町、知立市の順で多くなっています。

(単位:人/年)

自治体名	転入	転出	転出入
名古屋市	659	849	-190
刈谷市	154	151	3
豊田市	145	116	29
知立市	58	72	-14
大府市	77	84	-7
岡崎市	103	80	23
日進市	41	38	3
安城市	63	48	15
東郷町	41	71	-30
みよし市	40	26	14

※近隣10市町の動向を記載



出典:住民基本台帳人口移動報告(外国人を含む)

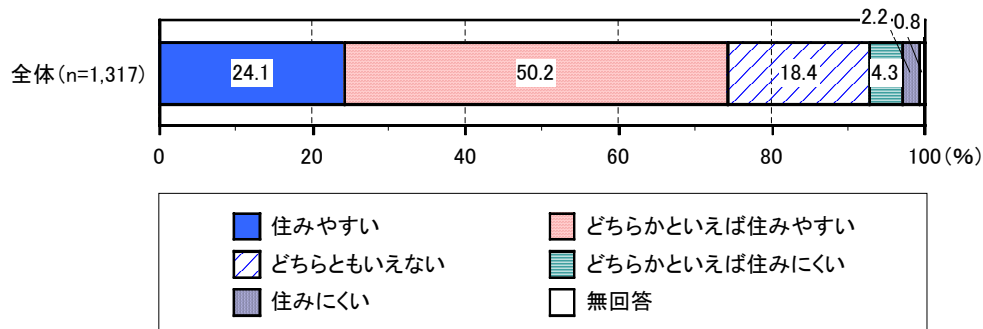
5 豊明市民の声

本計画策定にあたり、市内にお住まいの16歳以上の方の中から、無作為に3,000人を対象に、現在のまちづくりの課題やまちづくりを進めていく上での意見をお伺いし、計画策定に役立てるためのアンケート調査を実施しました。

調査方法	郵送による調査票の配布 郵送による回収またはインターネットによる回答
調査期間	2024年5月28日に配布し、6月21日を回答期限として回収
回収状況	・配布数 3,000票 ・有効回収数1,317票 うち、郵送:957票 インターネット:360票 ・有効回収率 43.9%

1. 住みやすさ

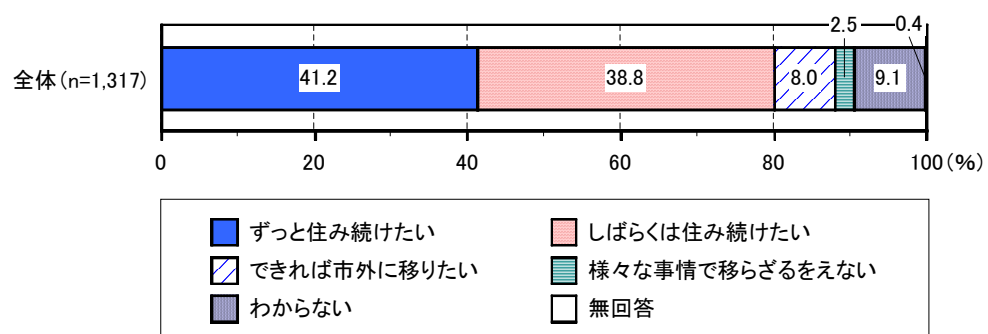
本市の住みやすさについて、「住みやすい」が24.1%、「どちらかといえば住みやすい」が50.2%となっており、合わせて74.3%が住みやすいと回答しています。



出典: 市民意識調査

2. 居留意向

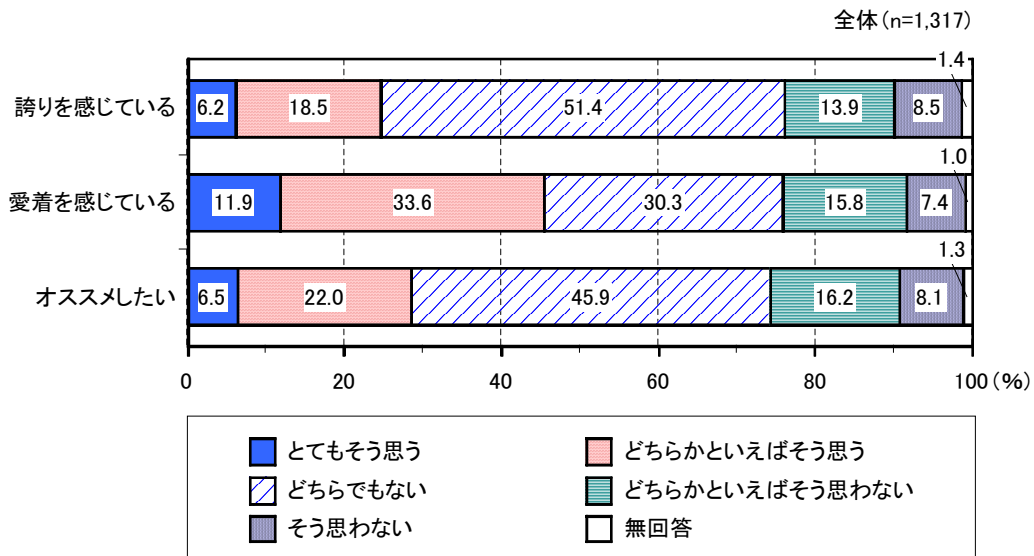
本市への今後の居留意向について、「ずっと住み続けたい」が41.2%、「しばらく住み続けたい」が38.8%となっており、合わせて80.0%が住み続けたいと回答しています。



出典: 市民意識調査

3. 誇り、愛着、オススメ度合い

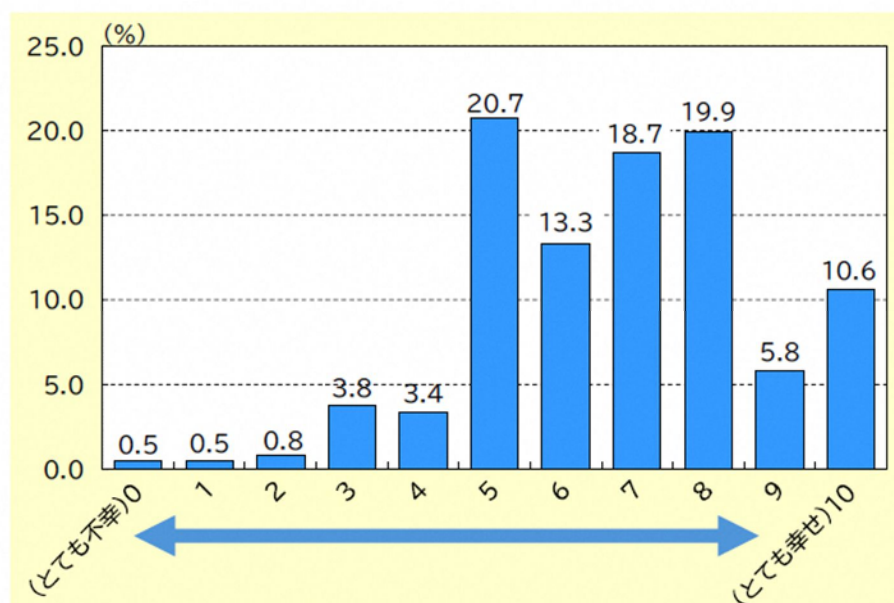
本市に対して誇りを感じている回答者の割合は 24.7%となっています。
愛着を感じている回答者の割合は 45.5%となっています。
オススメしたい回答者の割合は 28.5%となっています。



出典: 市民意識調査

4. 幸せ度

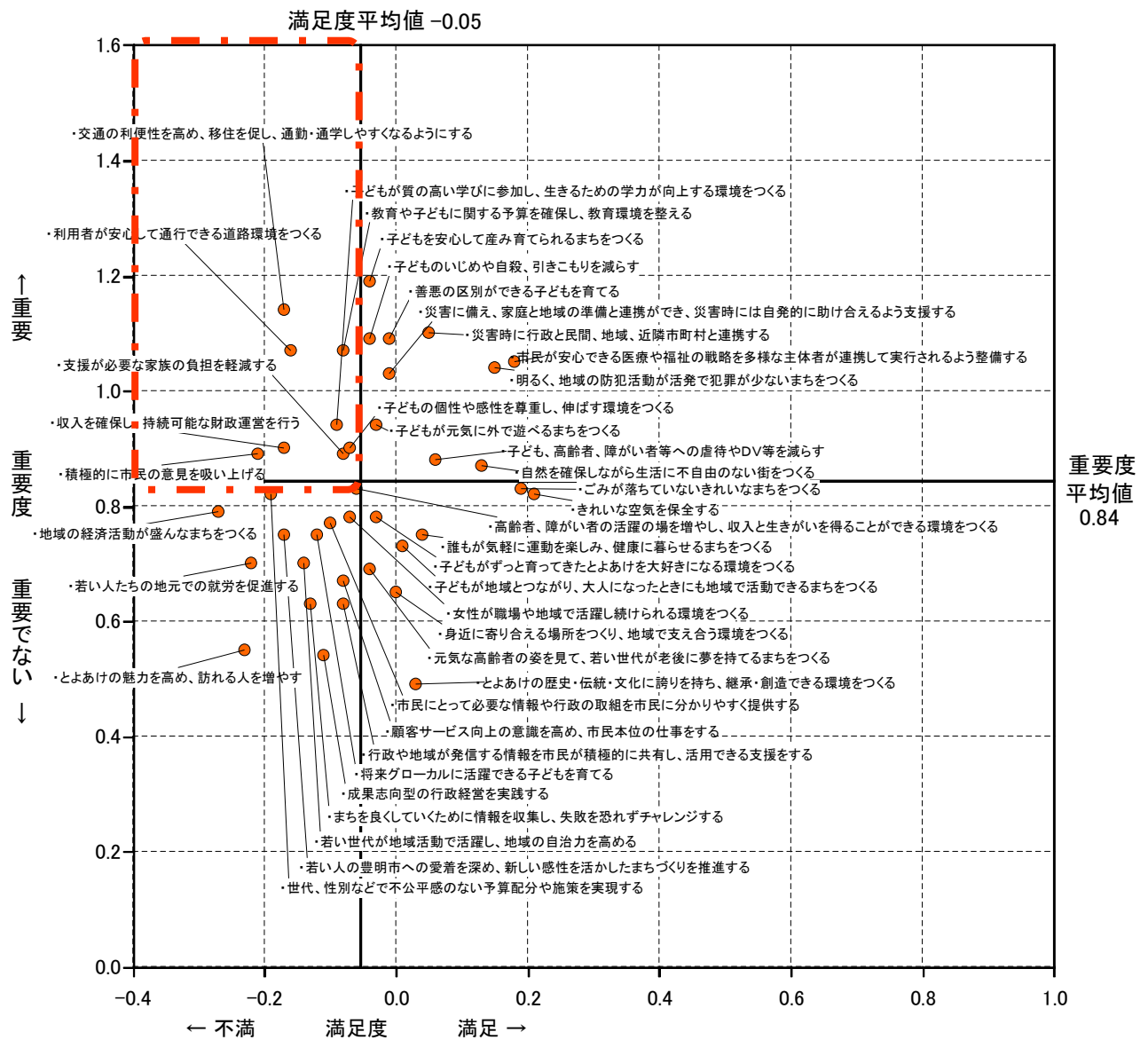
現在の幸せ度では、「5点」が 20.7%と最も多くなっており、次いで「8点」が 19.9%、「7点」が 18.7%となっており、平均は 6.78 点となっています。



出典: 市民意識調査

5. 重要度満足度

満足度を横軸、重要度を縦軸としてグラフ化した図を用いて分析すると、満足度が低く重要度が高い施策(赤枠部分)として、「交通の利便性を高め、移住を促し、通勤・通学しやすくなるようにする」、「利用者が安心して通行できる道路環境をつくる」、「教育や子どもに関する予算を確保し、教育環境を整える」をはじめとする8項目があげられています。



出典: 市民意識調査

6 豊明市の強み・弱み

社会潮流、統計データ、市民の声、第5次総計の評価をふまえた、本市の強み・弱みを整理し、以下のとおりSWOT分析※12を行いました。

豊明市の強み(Strength) S1 :交通アクセスが良い(鉄道・広域幹線道路) S2 :他市町への移動利便性が高い S3 :コンパクトなまちで市内の移動がスムーズ S4 :住みやすさを感じている人の割合が高い S5 :緑、自然が豊かである S6 :外国人が住みやすいと感じている S7 :カラットは幅広い世代が活用できる S8 :重層的支援など地域のつながりが深い S9 :藤田医科大学をはじめ医療が充実している S10:桶狭間の戦いの地である S11:市民の防災意識が高い	豊明市の弱み(Weakness) W1 :アピールポイントがない(グルメ、農作物) W2 :まちににぎわいが十分でない W3 :市内に飲食店が少ない W4 :商業施設などの集客が弱い W5 :自家用車がないと生活が不便 W6 :交通利便性は地域に偏りがある W7 :周辺と比べ高齢者が多く若者が少ない W8 :子育て世代に対する施策が少ない W9 :子どもと遊べる公園が少ない W10:家を建てられる土地が少ない W11:市内での仕事の選択肢が少ない
機会:社会環境の変化から期待できる好機 (Opportunity) O1 :カーボンニュートラル宣言による温室効果 ガス排出の取組強化、新技術の創出 O2 :こども家庭庁設立・「こどもまんなか社会」 の実現、国主導の子育て施策の推進 O3 :コロナ禍による生活スタイルの変化 →テレワーク、会議のWEB化など多様な 働き方、居住地の自由化 O4 :リニア中央新幹線の整備によるスーパー・ メガリージョン※13の形成・産業競争力の 強化 O5 :多様性を認め合う共生社会づくり O6 :第四次産業革命(society5.0※14)によ るAI技術などの発展	脅威:社会環境の変化から懸念される悪影響 (Threat) T1 :インフラの老朽化に伴う維持管理・更新コ ストの増加 T2 :ウクライナ情勢等による物価高による国際 競争力の低下、様々な値上げ T3 :異次元の少子高齢化の進行・人口減少社 会の到来による税収減、若者の負担増加 T4 :異常気象や南海トラフ地震による災害リス クの高まり T5 :高齢化に伴う医療や介護の費用増加、認 知症患者の増加 T6 :情報格差の拡大 T7 :廃棄物やマイクロプラスチック※15の増加

※12 内部環境と外部環境を「強み」「弱み」「機会」「脅威」の4つの要素に分けて分析し、評価するのに有効なフレームワークのこと。

※13 東京、名古屋、大阪の三大都市圏がそれぞれの特色を発揮しつつ、リニア中央新幹線全線開業により一体化し形成される世界最大の広域経済圏のこと。

※14 サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。

※15 環境中に存在する微小なプラスチック粒子

7 まちづくりの視点・課題整理

1. こどもが中心となって健やかに成長できる環境づくり

こどもが安全で健やかに成長できるよう、こどもの基本的な権利を守り、悩みや不安を相談できる仕組みを強化していくことが求められます。

子育てに関わる親などが安心して子どもを育てることができるよう、妊娠・出産期から子どもが成人するまでの各ライフステージにおいて、途切れることなく支援を行うことが求められます。

また、デジタル技術なども駆使しながら、質の高い保育・幼児教育サービスを提供し、このまちなら安心して子育てができるとしてもらえよう環境を整備することが求められます。

「こども」と「子ども」の表記について

2023 年 4 月、子どもの権利を総合的に保障するための法律としてこども基本法が施行されました。こども基本法における「こども」とは、「心身の発達の過程にある者」をいい、年齢によってその支援の対象から外れることがないように定義づけられています。

「子ども」や「子供」については法令や国の計画・事業名・組織名等により固有名詞として使用されているものについてはその表記に準じます。

2. 質の高い学びや体験の機会づくり

変化の激しい時代において、児童・生徒一人ひとりが学びや体験を通じて生きる力を育み、デジタル技術なども活用しながら、質の高い教育を受けられる環境づくりとともに、小中学校や給食センターなど教育施設のさらなる充実が求められます。

また、放課後児童クラブや地域塾のように、学外で子どもたちが安心して過ごせる多種多様なサードプレイス^{※16}が各地にあり、部活動の地域移行をはじめ地域と一体となって子どもたちを育む風土づくりが求められます。

3. しっかりと行き届く医療・介護制度の継続・充実

国民健康保険や後期高齢者医療保険、介護保険など、対象者にしっかりと行き届くように制度の継続と充実が求められます。

同時に、医療費等の支払いが困難な高齢者や身体的・環境的に恵まれない人に対して、医療費をはじめ一部負担金を助成する医療制度のさらなる充実と継続が求められます。

※16 家庭や職場などの役割や責務が決まった場所とは異なる心地の良い第 3 の場所。

4. 互いに寄り添い誰一人取り残されない社会づくり

支援を必要とする高齢者や障がい者の本人の生活目線に立って、けやきいきいきプロジェクトのように、医療や介護、地域や大学など多様な主体が連携して支援を受けられる安心して暮らし続けられる環境づくりが求められます。

また、生きづらさを抱えた方や、就労支援が必要な方などが、一人ひとりが役割を持ち、社会生活に参画し、互いに寄り添い支え合っていける社会づくりが求められます。

5. 一人ひとりが心身ともに健康でいられる取り組みの充実

市民一人ひとりが心身ともに健康でいられるように、疾病を予防し、重症化を防ぐための予防接種や健康診断などの取り組みを充実することが求められます。

また、誰もが自由に楽しく過ごし、生活の質を高められるように、個々に応じた学びや運動、芸術文化に触れる機会の提供や場の整備が求められます。

6. 誰もが参加できる機会を得て、ゆるやかにつながる地域づくり

市民や地域、事業者や大学など多様な主体がつながり、積極的に活動ができる機会の提供や場の整備とともに、日常から災害や犯罪に対する備えを行う意識が向上されるような機会が求められます。

豊明市には、約 4,000 人の外国籍の人が生活をしており、総人口に占める割合は約 6%と県内でも高い割合となっています。全ての市民の人権を尊重し、LGBTQ+など多様な生き方をお互いに認め合うことで、言語や文化、生活習慣及び国籍などを問わず、誰もが地域づくりに参加し、自分らしく暮らしやすい社会づくりが求められます。

7. 環境にやさしく、快適に移動できる環境づくり

暮らし続けられる環境にやさしいまちにするために、温暖化対策に関する市民の意識を向上させる取り組みや再生可能エネルギーの導入などに取り組むことが求められます。

より身近な場面では、市民一人ひとりが適切にごみ処理を行い、一般廃棄物を減らすための意識啓発や循環型社会の形成に向けた仕組みづくりが求められます。

また、ひまわりバスやチョイソコとよあけを継続して運行するとともに、交通事業者等と連携して、可能な限り多くの市民が快適に移動できる環境づくりが求められます。

8. 安全で便利な都市基盤の形成

住む場所、働く場所、過ごす場所として選ばれるために、適切な土地利用、道路、公園緑地などの都市施設の整備などを通じて、安全で利便性・持続可能性の高い都市基盤の形成が求められます。

また、リニア中央新幹線の開業や(都)名古屋岡崎線の整備など本市を取り巻く環境の変化に応じて、本市の魅力を高め、居心地の良い空間づくりが求められます。

9. まちへの誇りを育む取り組みの推進

住みやすいまちに留まらず、誇りをもって豊明の魅力を伝える市民が増えるように、桶狭間の戦いにまつわる知識の伝承や古戦場まつりをはじめ、市内外を問わず歴史や地域資源に触れることができる機会が様々な場面で得られることが求められます。

また、いにしえより受け継いできた歴史文化や文化財の保存・継承が求められます。

10. 活力ある商工業や農業の発展

働く場所として豊明市を選んでもらうため、働きたい人と市内事業者のニーズが上手くマッチングできるような場づくりとともに、スタートアップを試みている起業家や既存事業の継承のための支援が求められます。

さらに、花マルシェや軽トラ市のような地域資源を活用してにぎわいや交流の創出が求められます。

また、大都市近郊である地域特性を生かした持続的な農業を振興し、市民が豊明で取れた作物を消費できる地産地消の推進が求められます。

11. 明るい未来に向けたまちづくりを支える行財政運営の推進

デジタル化や高度化が進む市民のニーズに対応できる職員を育成し、効果的で効率的な行財政運営を推進することが求められます。

また、行政サービスや行政の取り組みが市民一人ひとりに伝わるような情報発信を推進するとともに、市民や事業者など多様な主体が協働・共創して明るい未来づくりをしていくことが求められます。

第2編 基本構想

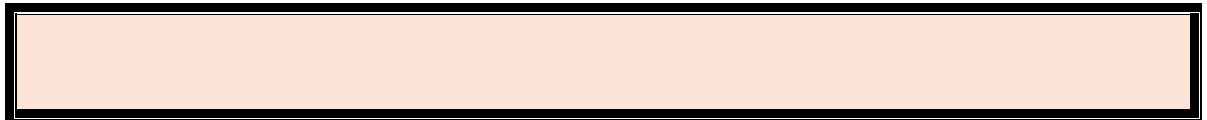
1 将来都市像

資料2-2

1972 年の市制施行以来、緑豊かな自然環境や歴史文化といった地域資源、名古屋市に隣接し、広域的な交通利便性と快適な居住環境を有するまちとして、発展を続けてきました。

「みんなでつなぐ しあわせのまち とよあけ」をまちの未来像とした第5次総合計画では、誰もが輝き、まちづくりの主体者として活躍できるまち、誰もがそれぞれの「しあわせ」を実感できるまちをめざして様々な取り組みを進めてきました。

本計画においても、この考え方を継承しつつ、さらなる発展につなげるため、以下の将来都市像を定めます。



【決まった将来都市像に応じて、補足的な想いを記載予定】

2 将来人口

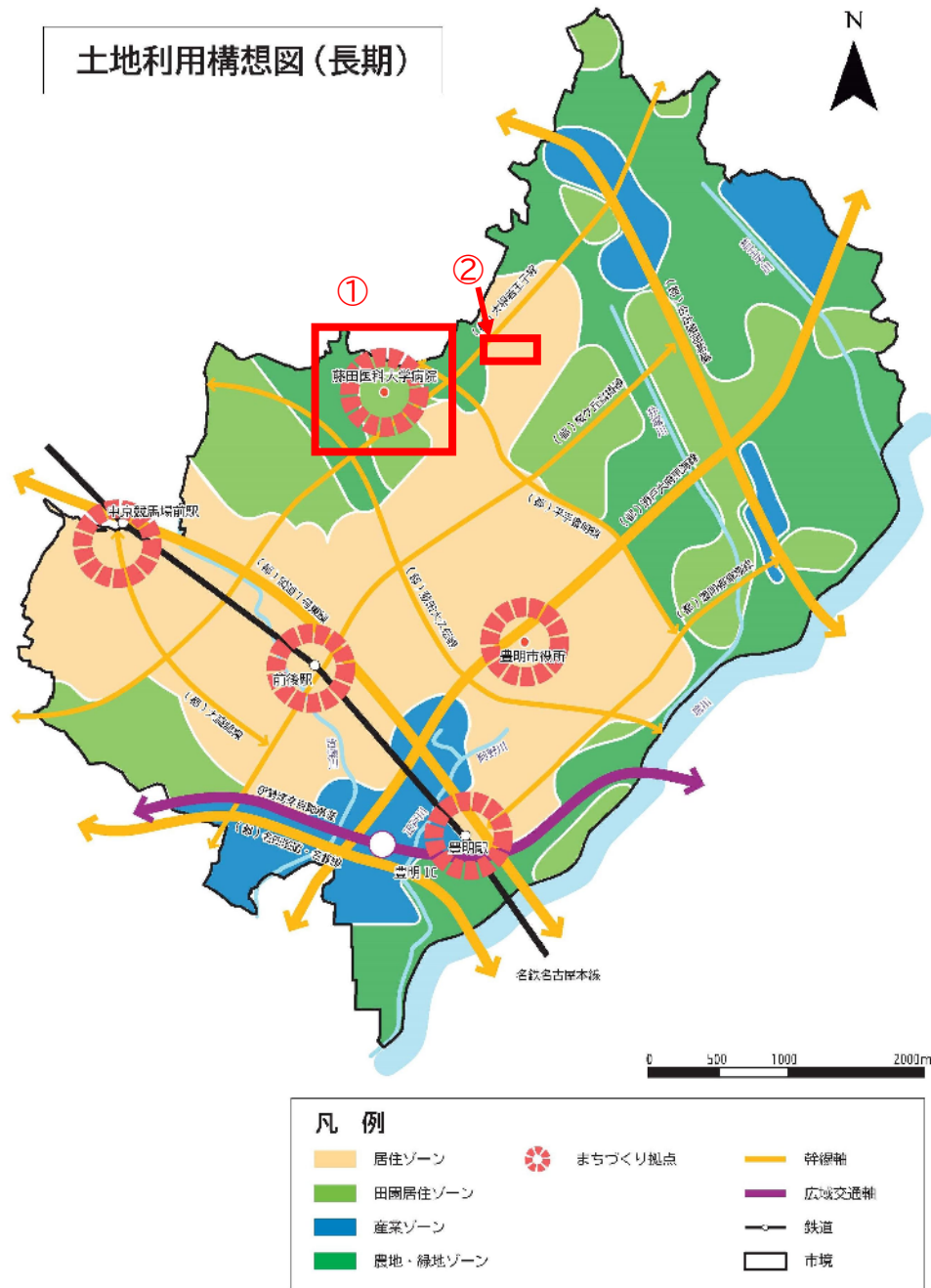
資料2-3

【決まった将来人口に応じて、グラフ・説明を記載予定】

3 土地利用構想

第5次豊明市総合計画の土地利用構想図から現段階で以下の2点を修正します。

修正箇所	修正前	修正後	修正内容
①藤田医科大学 学病院周辺	まちづくり拠点	(仮)防災・医療 ゾーン	現在の土地利用等に合わせて新たなゾーンを設定する。
②大狭間湿地	居住ゾーン	農地・緑地ゾーン	湿地保全のため農地・緑地ゾーンに修正する。



【決まった土地利用構想に応じて、説明を記載予定】

4 総合計画と SDGs の一体的な推進

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

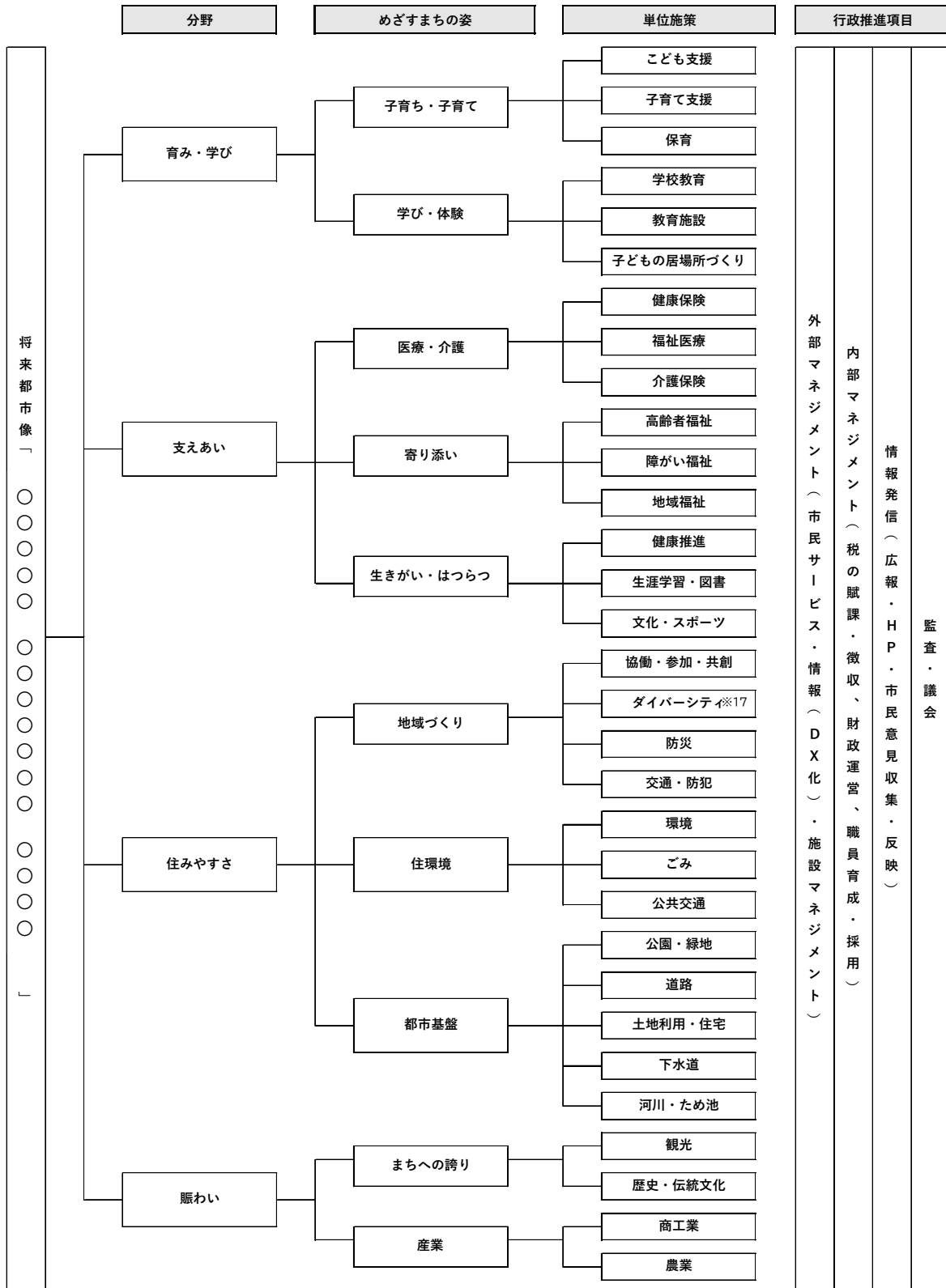
17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

SDGsの17の目標は、「貧困をなくそう」から「パートナーシップで目標を達成しよう」まであり、総合計画の目標であるめざすまちの姿とSDGsにおける推進の考え方は、ともに地域課題の解決に資することにつながり大きく関係しています。そのため、めざすまちの姿実現に向けた各取り組みを整理し、一体的に推進することで持続的な発展につなげます。



5 施策大綱

まちづくりの視点・課題整理(総論 7参照)を踏まえ、将来都市像「○○○○○ ○○○○○○ ○○○○」を実現するため、4つの分野と全般として意識すべき行政推進項目の5つについて、以下のとおり定めます。



※17 人種、性別、年齢、国籍、宗教など、さまざまな属性の人々が集まった状態。多様性。

1. これまでの将来都市像

1 次	豊かで 明るい 住みよい豊明市
2 次	豊かで 明るく 健康な文化都市
3 次	住んでよかった、住みつづけたいまち
4 次	人・自然・文化 ほほえむ安心都市
5 次	みんなでつなぐ しあわせのまち とよあけ 女性も男性も、障がいのある方も、外国人も、子どもからお年寄りまで、誰もが輝き、まちづくりの主体者として活躍しているまちをめざします。 「今」を創ること、それは「未来」へとつながっていきます。 今を生きる私たちが、支え合い、手を取り合って「しあわせのまち」をつくり、未来の子どもたちへとつないでいきます。 誰もがそれぞれの「しあわせ」を実感でき、しあわせ溢れるまちをめざします。

2. 将来都市像案

① 未来へつなぐ みんなで創る しあわせのまち

一人ひとりがまちづくりの主体者として活躍し、みんなが笑顔でいきいきと暮らせるまちをめざします。

障がいのある方も、外国人も、子どもからお年寄りまで、誰もが地域に居場所があり、お互いに支え合いながら安心して暮らせる「しあわせのまち」をつくります。

人や地域がつながるだけでなく、自然や歴史、想いを未来へつなぎ、「しあわせ」溢れるまちをめざします。

② とともに生き とともに輝くまち とよあけ

年齢や性別、障がいの有無、国籍などそれぞれの個性や価値観をお互いに尊重し合い、支え合えるまちをめざします。

一人ひとりが輝き、地域全体が活気に溢れることで魅力が増し、楽しく暮らせるまちをつくります。

人と人とがつながり、支え合いながら挑戦できるまちをめざします。

③ 人と人がつながる ささえあうまち とよあけ

障がいのある方も、外国人も、子どもからお年寄りまで、誰もが互いに信頼し合い、支え合いながら豊かに暮らせるまちをめざします。

一人ひとりが役割をもち、個性を活かしながらいきいきと暮らせるまちをつくります。

つながり支え合うことで全ての市民が安心して暮らし、世代や文化を問わず共生する豊かなまちをめざします。

将来都市像（案）投票シート

No.	将来都市像	シール投票
1	つなぐ幸せ みんなの居場所 とよあけ	● ●
2	人と人がつながる 支え合うまち とよあけ	● ● ● ● ●
3	未来へつなぐ みんなで創る しあわせのまち	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
4	未来へつなぐ 笑顔あふれるまち とよあけ	● ●
5	ともに生き ともに輝く とよあけ	● ● ● ● ● ● ●

将来都市像（その他候補）投票シート

No.	将来都市像	シール投票
6	笑顔つながる 幸せ広がる みんなで創るまち	●
7	（と）ともに （よ）寄り添い （あ）安全で （け）健康な 暮らしやすい（住みよい）まち	●
8	人 自然 歴史 つなぐつながる 豊かなまち	● ●
9	みんなでささえる 安全安心都市 とよあけ	●
10	人と人がつながり 支え合うまち とよあけ	● ●
11	つながる 支え合う 活気あふれる 幸せ育むまち	
12	活気あふれる 幸せなまち とよあけ	● ●
13	笑顔 にぎわいあふれる 共生社会都市	●
14	幸せ育む 共生社会都市 とよあけ	
15	支え合いの輪でつながるまち とよあけ	●
16	未来へつなぐ おたがいさまのまち	
17	人が育み 未来が輝くまち とよあけ	
18	つながり合い 支え合う あたたかなまち とよあけ	●
19	人と人がつながり 未来を創るまち とよあけ	
20	地域の力で育む つながり豊かなまち とよあけ	
21	誰もがつながり 安心して暮らせるまち とよあけ	●
22	つながり育む みんなのまち Toyoake	
23	共に築く 温かな未来のまち とよあけ	●
24	つながる力で創る 豊かな共生のまち TOYOAKE	

みんなが
主役

活気
あふれる

活気
あふれる

安全安心

つながる

高校生が
選んだ
場所

ストリート
バスケ

集まる
場所

1. 人口推計の方法

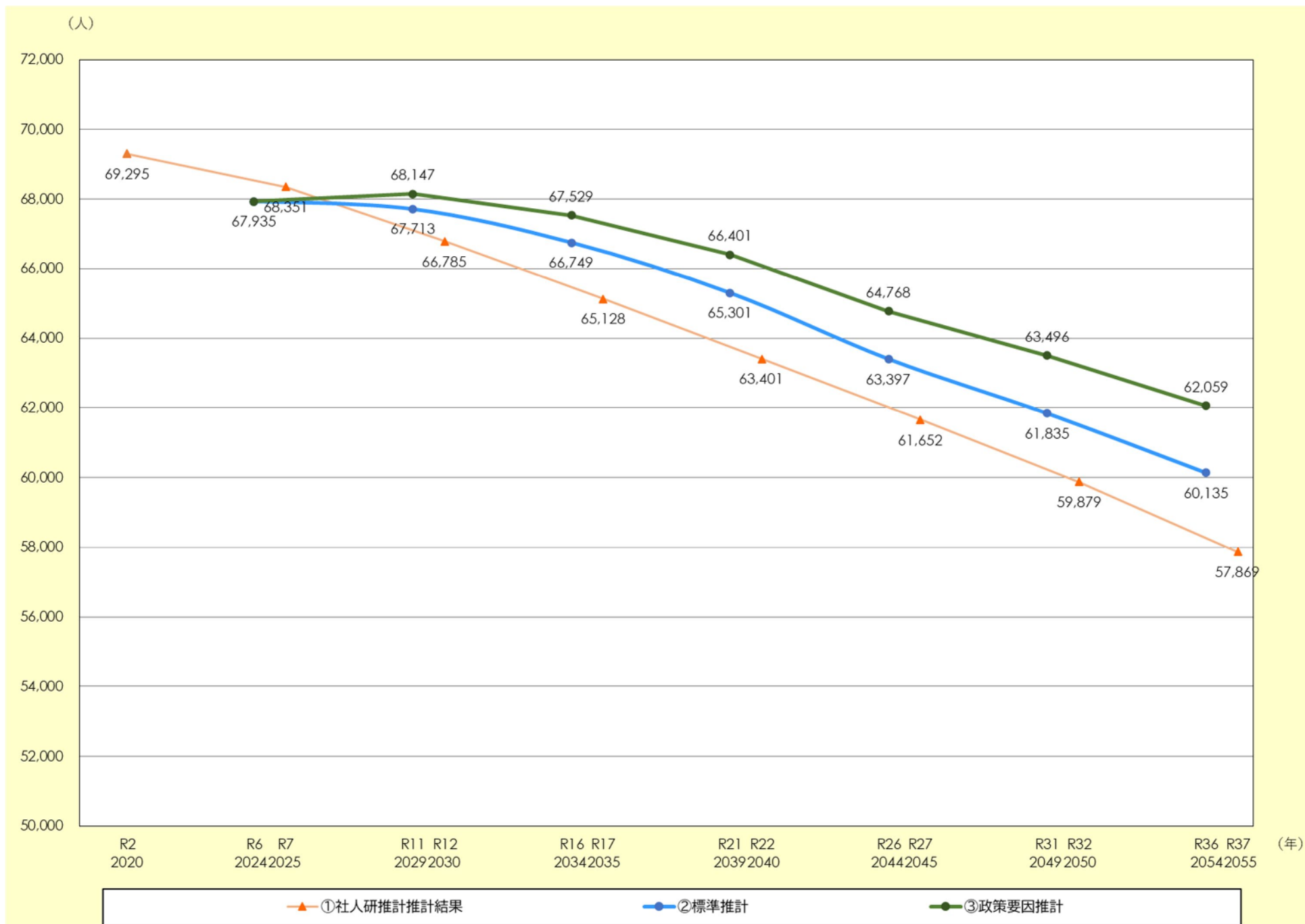
直近2回(第4、5次)の総合計画における人口推計・目標人口の設定は、コーホート要因法の推計結果をベースに政策要因を加える形で行ってきました。本計画の策定においてもコーホート要因法により、人口推計を行います。

【参考】コーホート要因法

各コーホートの「自然増減」(出生と死亡)及び「純移動」(転出入)という二つの「人口変動要因」に基づいて、将来の推計値を求めるという方法です。
推計の基礎となる過去の実績人口に特殊な変動があったか、推計対象期間内の将来人口に特殊な変動が予想されるため、過去の実績に基づく変化率が将来人口の推計に適さないと思われる場合、この方法を用いることが推奨されます。

2. コーホート要因法を用いた人口推計

①社人研推計	国勢調査の結果(2020 年 10 月 1 日)をベースに国立社会保障・人口問題研究所(社人研)が推計した豊明市の人口推計			
②標準推計	・①の基準日を 2024 年 10 月 1 日の人口に修正 ・土地区画整理事業など(寺池地区、間米南部地区、二村台一丁目)の影響を加算 ※過去の実績等を参考に転入者の年齢層、市外からの転入率等を設定			
③政策要因推計	市の政策で関与できる純移動率及び合計特殊出生率を向上させることを目指して設定 【 (② + (A) + (B))			
	(A)純移動率(社会移動数)			
	純移動率がマイナス(流出)となっている世代のうち、特に抑制したい世代(30 代、40 代)と、その世代の子ども(0 歳～9 歳)の流出を以下の表のとおり想定し、流出抑制を図る。			
	2029 年	2034 年	2039 年	以降
	マイナスを 0 に	絶対値×0.75	絶対値×0.5	2039 年の数値を継続
	(B)合計特殊出生率(15 歳から 49 歳までの一人の女性が一生に産む子供の数の平均値)			
	さまざまな価値観が増えてきた中で、合計特殊出生率を向上させるといった目標は適切ではないと考えるが、コロナ禍による産み控えもあったことから、コロナ前の実績も踏まえ段階的に回復させることを目指す。			
2029 年	2034 年	2039 年	以降	
1.35	1.40	1.45	2039 年の数値を継続	
【参考】直近 5 年の豊明市の合計特殊出生率の推移				
2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年
1.32	1.41	1.43	1.30	1.28



				2024（R6）年度												2025（R7）年度																																						
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																								
(1) 総合計画審議会																																																						
〔基本構想及び基本計画の素案を審議〕				第1回【2/5】 ・諮問 ・第5次総合計画の概略及び課題 ・第6次総合計画策定方針 第2回【7/31】 ・まちカルテ・策定経過 ・まちづくりの課題整理 第3回【12/6】 ・序論・基本構想 ・基本計画基本フレーム 第4回 ・基本計画重点施策 ・基本計画分野別計画等 第5回 ・基本計画分野別計画等② ・パブリックコメント案の確認 第6回 ・パブリックコメントの対応 ・答申																																																		
(2) 経営戦略会議																																																						
〔合意形成〕				第1回審議会について 第2回審議会について 第3回審議会について 第4回審議会について 第5回審議会について 第6回審議会について 第7回答申について 議会上程																																																		
(3) 庁内策定組織																																																						
① 策定委員会 〔各策定部会長で横断的・重点施策の検討〕																																																						
② 策定部会 〔施策・事業体系の検討〕																																																						
③ 職員ワークショップ 〔まちづくり指標の検討〕																																																						
④ 若手職員ワークショップ 〔グループインタビュー、市民WS等への参加〕																																																						
(4) 事務局																																																						
				庁内若手職員研修会 豊明市まちカルテの作成 各種調査の準備・実施 庁内検討体制の運営 基本構想案の検討 基本フレームの検討 庁内検討体制の運営 重点施策・分野別計画の 庁内調整等 パブリック コメントの実施 計画書本編・概要 版の編集・印刷																																																		
(5) 市民参画																																																						
① グループインタビュー				実施																																																		
② 市民意識調査				調査票の 設計・配布																												実施	集計・分析																					
③ 市民ワークショップ				参加者募集・準備																												★	★	★	★																			
④ 市民の潜在的なニーズ調査				実施																												9/14	10/19	11/9																				
⑤ パブリックコメント																																																						
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																								